

新しい潮流を捉えていく

人材確保・育成の充実へ

関東塗料工業組合

理事長 篠原 幸治



た記念式典においては、進めることができたこと、60年前の困難な情勢下、は大きな喜びとするところであります。

昨年来を振り返ってみると、特筆すべきこととして、東京のごと財団様の業界団体別人材確保強化支援事業の支援対象団体として採用されたことが挙げられます。この支援事業は近年特に人材確保が難しくなる中、業界団体別にさまざまな支援プログラムを業界の事情にあわせて力スタマイズできるといつものであり、当組合のみならず業界全体の人材確保支援にもつながる意義深い事業になるもの

と考えております。コンサルティングを受けていただく会社の皆様にはもちろんのこと、業界に働くすべての皆様にも効果が波及するような支援事業となるよう、他団体の皆様のご協力もいただきながら進めてまいりたいと思っております。

人材育成という面では、昨年から管理職研修を開講いたしました。塗料報知新聞社サステナブル経営サポーター室のご協力をいただき、第1回として14社34名の方々に参加をいただきました。まだ至らぬ点も多くありますが、今後ともさらに充実を図り継続していく所信として申し上げます。また、就任以来、関東塗料工業組合の「このより」を皆様のご協力により、今年1年、皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。旧年中は、関東塗料工業組合の活動に對しまして、皆様からご理解とご支援・ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

当組合は昨年6月5日に創立60周年を迎えました。昭和100年の年に還暦を迎えたことになり、但し、総会時に行われ

おり、上場各社の決算を見ても利益が圧迫されている状況にあります。組合としては、組合員に共通する諸課題について胸襟を開き忌憚のない議論ができる場を提供したいと考えて活動を進めてまいります。

今年1年、皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

団体長 2026
新年あいさつ